

たい。小規模自治会や自主防災会の活動促進については、成功事例を紹介

するなど、自治会ごとに対応する。

買い物弱者対策の27年度予算を問う



質問者
中野 博 議員

9月定例議会での一般質問のやり取りについて、「買い物弱者対策として、ミニスーパーの開設や巡回型スーパーの導入を来年度中に開始する」という内容が、新聞報道されました。

この買い物弱者対策に関する町長の姿勢について、多くの町民は大変期待しております。平成27年度予算編成時期を迎えましたので、具体的な検討状況をお聞かせください。



参画をお願いし、町ぐるみで考えていく。
ミニスーパーの開設については、新松田駅前のコスモス館の利用を考えている。現在、地産地消の会が野菜を中心とした販売をしているが、会員の方達にご協力いただ

き、更に充実した品揃えを図り、駅前の一等地という地の利をフルに活用し、有効活用していきたい。
今後、福祉目的の買い物弱者対策、高齢者の見守り対策として、官民一体となって積極的に取り組んでいく。

松田町の安全・安心と人口増加策について



質問者
鈴木 眞徳 議員

全国各地で集中豪雨が発生しています。特に今年の8月、広島市における局地的な短期間の大雨によって、住宅地後背の山が崩れ同時多発的に大規模な土石流が発生し、多くの尊い人命が失われたことは記憶に新しいところ です。

そこで、町長に伺います。松田町のがけ地対策はどのようになっていますか。
次に、全国的にも少子高齢化と人口減少の傾向が進む現在、松田町もその例外ではありません。少子高齢化に伴ってPTAや子供会が消滅の危機に陥っていると聞いております。今後どのようにお考えか。
また、人口増加策の一助として、親・子・孫がらなる三世代住宅が上げ

A 官民一体となって取り組んでいく

回答 (町長)



巡回型スーパーについては、平成27年1月を目途に導入したい。現在、寄地区を週2回巡回している民間業者と協働し、庶子地区や茶屋地区等、移動販売車の立ち寄り要望のある町内各地に、順次巡回する予定となっている。町商工振興会にも

A 地域で助け合いを

回答 (町長・教育長)



られると思いますが、町として支援等の考えはないか伺います。

小・寄中は生徒数が少ないので、合同のPTAで組織されている。
自治会単位の子供会が減少したため、町子連協議会は26年度から事業を一部縮小している。27年度には、協議会の活動を一時休止する方向性が示されている。

平成27年度から、人家への被害の可能性が大きい山北町境の大沢に、砂防堰堤工事を実施する。町として、その他の沢についても堰堤整備を県に要望していく。
PTAについて、寄



山北町境の大沢